

日本聖公会神戸教区

信徒・教役者の皆さまへ

## 教区「教会活動の自粛基準」の改訂 第12信

2022年4月8日(金)

神戸教区主教 オーガスチン小林尚明

主の平和が皆さまの上にありますようにお祈りいたします。

4月4日(月)新型コロナウイルス感染症対策室の会議が開催され、これまで教区で使用されてきました「教会活動の自粛基準(2020年11月5日版)」を見直すこととなり、「ウィズコロナ(コロナと共に)」の時代に対応した新自粛基準案が策定されました。その改定案を常置委員会の協議・承認を得て、主教教書 第12信を発信します。

今回の改定の主旨は、感染防止に十分配慮しつつ陪餐を再開することです。

この根拠は、多くの信徒の方が三回目のワクチン接種を終えられたこと、オミクロン株に置き換わりこれまで判断基準としてきた新規感染者数の意味が薄れてきたこと、感染拡大3年目に入り我々がウィズコロナ生活の経験・学習を重ねてきたこと、等々初期の頃の未知の感染症に対する自粛基準とは違って来るべきと考えます。

人数の増減で一喜一憂するのではなく三密(密閉、密集、密接)を避けるなど感染防止策を取ったうえでの教会生活を目指したいと思います。

これらにより、政府から新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づいた布告(まん延防止等重点措置や緊急事態宣言など)が出されていない場合をフェーズ1(注意喚起)として、限定された聖餐式を可能としました。改訂された「教会活動の自粛基準(2022年4月4日版)」を参照ください。ただ各教会は、置かれた状況が違いますから、聖餐式の実施の可否について各教会の牧師は教会委員会に諮り、決議の後、自粛の場合は教区主教への相談・報告がこれまで通り求められます。なお、陪餐の再開については信徒・関係者への十分な配慮と周知をお願いいたします。

現在まで教会の活動全般において、感染防に皆様のご協力感谢您しております。今後も継続して注意喚起をお願いしますが、特に陪餐時は信徒の方にはマスクを外す時間を短くした陪餐方法や「アーメン」を言わない方法を牧師は奨励してください。また、司式者は、飛沫感染防止のためにウエハースを入れたシボリウムを使用したり、ピューリフィケーターでウエハースを覆うなどの工夫をしてください。さらに、分餐時には tong などを使用して非接触方法での陪餐方法の工夫をしてください。

私たちの聖公会の教会はキリストの体と血にあずかる聖餐を信仰の中心として守ってきました。しかし、コロナ禍と言う状況にあつてこの重要な聖餐をどのように守り、行っていくのが問われています。私たちは「ウィズコロナ」の時代には、今までとは異なる教会の在り方に変わらなければなりません。しかし、その中心である信仰は決して変わってはならないし、これからも守り続けていかなければならないものです。変えてはならない教会の信仰と信仰者の命を守るために感染防止に十分留意してください。

コロナウイルス感染のため逝去された方々の魂の平安を祈るとともに、この社会を支える為、献身的に奉仕くださっている全ての方々に、神様からの導きと励まし、祝福をお祈りいたします。

**\* 主教教書は、信徒および教職者への大切なお知らせです。掲示や配布などをお願いいたします。**

# ウイルス感染症拡大における教会活動の自粛基準

2022年4月4日（改定）

新型コロナウイルス感染症対策室

| フェーズ            | 社会状況  | 礼拝の形態   | 牧会上の注意事項   |
|-----------------|---|---|--|
| フェーズ0           | 制限解除時<br>* 感染症分類が5類となった場合   | 通常の聖餐式  |  |
| フェーズ1<br>(注意喚起) | 感染小康期<br>* 政府から発令されていない場合<br>* フェーズ1であっても牧師は教会委員会と協議のうえ、教区主教に相談して陪餐を中止することができる。 | 限定された聖餐式<br>・ インテイクション陪餐（ぶどう酒を付けたパンを最後に信徒に渡す）<br>・ 一種陪餐<br>・ 聖歌やチャントの短縮や省略<br>・ 陪餐直前の消毒の実施<br>・ 陪餐時は非接触方法をとる（トングや手袋などを使用するなど） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席者の発熱、せきやくしゃみなどの体調管理</li> <li>・ 教会施設（礼拝堂・会館）の換気などの徹底</li> <li>・ 消毒液などの設置と実施の徹底</li> <li>・ 茶話会昼食を含む集会等の延期または、中止<br/>ただし、熱中症予防のため個々に水分補給を促す</li> <li>・ 礼拝中のマスク着用</li> <li>・ 隣席との間隔を1m以上あけて着席</li> <li>・ 礼拝時間を短縮（1時間以内）する</li> <li>・ 献金箱を使用する</li> <li>・ 出席者を制限する</li> <li>・ 他教派、教会への礼拝出席の自粛</li> </ul> |
| フェーズ2           | 感染拡大期<br>* まん延防止等重点措置などが政府から発令された場合<br>* 新規感染者が急激に増加傾向にある場合                     | 陪餐しない礼拝<br>・ 聖餐式前部<br>・ み言葉の礼拝<br>・ 聖歌やチャントは歌唱しない   |  |
| フェーズ3           | 緊急事態期<br>* 緊急事態宣言など政府が発令した重大な宣言の場合  | 公開の礼拝の自粛<br>・ 信徒は自宅で祈る<br>・ 教役者・家族のみで礼拝する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅にいる信徒への牧会的な配慮</li> <li>・ メールやリモート会議などを活用</li> <li>・ 信徒訪問はせず、電話やメールなどで定期的な安否確認</li> </ul>  |

\* 礼拝は、消毒の徹底と三密（密閉、密集、密接）を避け、感染防止を十分に注意して実施してください。

\* 各教会の置かれている地域の状況が異なるため、各県の社会活動制限基準に従ってください。

\* 礼拝を自粛する場合は、牧師が教会委員会と協議のうえ、教区主教に相談して決定してください。

\* 教区のガイドラインに従った礼拝を実施してください。

\* 飛沫感染やエアロゾル感染を避けるために、パンとブドウ酒の取り扱いには十分に留意してください。（聖別時に司式者はシボリウムを使用したり、ウエハースをピューリファイケーターで覆うなど）